

## 越後駒ヶ岳山行報告

【山行日】2023年 9月 17(日) 快晴

【集 合】岩舟支所P AM 3:00

【費 用】マイカー1台 : 5,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL石澤

飯口、小林、福島、

【コースタイム】岩舟支所P3:00＝枝折峠

P5:30/6:05～明神峠 6:35/6:40～道行山

7:30～小倉山 8:20～百草の池 9:20～

駒の小屋 10:05/11:25～越後駒ヶ岳

10:50/11:10～駒の小屋 11:25/12:00～

小倉山 12:10～道行山 14:00～明神峠

14:50/15:00～枝折峠 15:20/15:40＝道の駅「湯之谷」16:20/16:40＝岩舟支所P18:45



当初の計画では北穂高岳～奥穂高岳の予定だったが中止になり、代替山行として越後駒ヶ岳を



計画した。枝折峠からのピストンコースを計画したが、往復9時間のロングコースで中々手強いコースである。朝3:00に岩舟支所を出発し、北関東道から関越道を走り小出 ICで降り、国道352号線を奥只見に向かう。折立から奥只見シルバーラインを走り、銀山平から国道352号に戻る。国道への入口で交通係員に車を止められ、「登山ですか、滝雲見学ですか？」と聞かれ「登山です」と答えたと「駐車場はすでに満車で、路上駐車も出来ない状況です」と告げられた。さらに「銀山

平からシャトルバスが出るので、利用してください」と言われ、「帰りは何時発ですか？」と聞くと「15:00です」との返事。

「シャトルバスで行って15時までには下山するのは無理です」と言うと、「それでは向こうで何処か駐車場所を探してください」と言われ枝折峠に向かう。枝折峠駐車場に着いて驚いた、駐車場は満車で、道路の待避スペースも車が止められ大勢の滝雲ファンで溢れていた。これほど滝雲&雲海ファンがいるとは、全く認識が無く皆さん驚いた。700mほど戻り待避スペースの端になんとか車を止め、出発の準備を整え駐車場まで行きトイレとストレッチを済ませる。



トイレの裏から登山道に入り尾根を登ると、ここにも滝雲を撮る人がカメラを構えていた。我々も雲海や滝雲を楽しみながら歩き、明神峠の社の前で休憩を取る。ここからはアップダウンを繰り返しながら



ながら進み、行く手には越後駒ヶ岳が見えてくるがまだまだ遠い。灌木帯の尾根上を進み、鞍部は湿地帯になっておりぬかるんでいる。道行山は北側を巻いて行き、山頂への標識があるが先が長いので登らず直進する。アップダウンが続き、次の大きなピークの小倉山に着くと駒の湯からの道と合わさり、大勢の登山者が休憩していた。我々も休憩を取りたかったが、陽射しが強いのでそのまま下り日陰を見つけて休憩を取る。ここから下ると百草の池があるが、標識があるだけで池は見えなかった。

この先の稜線は樹木の丈が一段と低くなり、いよいよ本格的な急登が始まる。岩交じりの急登は辛く、F 島さんが「私は駒の小屋までで待ってます」と言うので、「だめです、駒の小屋まで登ったら山頂は直ぐですから、荷物を置いて登ってください」と答える。ここからペースダウンしたが、一步一步ゆっくりと登り岩場やクサリ場の急登を登り切る。草地の登りになると前方に駒の小屋の風力計が見え、ほんの少し頑張ると駒の小屋に着く。駒の小屋前の広場のベンチで休憩し、疲れた足を休めてリンゴや菓子をいただく。F 島さんの荷物は K 林さんのサブザックにレインウエアーと水だけ詰め、ザックは木陰にデポして山頂に向かう。駒の小屋の横から草地の尾根を進み、雄大な越後駒ヶ岳を見ながら爽快に登れる。尾根を付き上がると稜線上の T 字路に出て、右に緩やかに登ると越後駒ヶ岳山頂に出る。山頂からの眺望は素晴らしく、文字通り36



0度の大展望が得られ中ノ岳や八海山、荒沢岳から平ヶ岳まで見渡せる。記念写真を撮ったらベンチで休憩し、ご褒美のプリンを食べながら展望を楽しむ。いつまでも立ち去り難い景色だが、復路も長いので気持ちを抑えて下山する。



駒の小屋に戻ってランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作る。おにぎりやお稲荷さんを食べ、お手製のチャーシューやちくわを美味しくいただく。ランチが済んだら下山開始し、往路を戻って登山口を目指す。復路もアップダウン

が連続し、登り返しが疲れた足にダメージを与える。小倉山や道行山の登り返しはことさらきつく感じた。道行山から明神峠まではいくつもピークを越え、これほど長かったかと思いながら登る。

ようやく明神峠まで戻り、最後の休憩を取って疲れた足を休めた。ここからは尾根を下るだけで少し楽に歩け、荒沢岳を見ながらゆっくり下ると枝折峠に着いた。駐車場には車はほとんど無く、あれだけ有った待避スペースの車も数台しか残っていない。車まで戻り、靴を履き替えたらず路につく。来た道に戻り、奥只見シルバーラインを通して小出ICへ向かう。途中、道の駅「ゆのたに」に寄り、トイレを済ませてお土産を買い岩舟支所に向かう。小出ICから関越道に入り渋滞も無く順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着した。